



News Release

2024年3月22日

ゲンキーは「ホワイト物流」推進運動に参加しました

ゲンキー株式会社は、2024年2月24日、国土交通省・経済産業省・農林水産省が推進する「ホワイト物流」推進運動の主旨に賛同し、自主行動宣言を提出いたしました。

「ホワイト物流」推進運動とは、トラック運転者不足が深刻になっていることに対応し、国民生活や産業活動に必要な物流を安定的に確保するとともに、経済の成長に役立つことを目的として、以下に取り組む運動です。

当社は、持続可能な物流の実現に向けた自主行動宣言として、以下のように取り組むことを宣言いたします。

物流の改善提案と協力

・取引先や物流事業者から、荷待ち時間やドライバーの手作業での荷卸しの削減、附帯作業の合理化等について要請があった場合は、真摯に協議に応じるとともに、自らも積極的に提案します。物流事業者とは、定期的に会議を設け、協議、提案を行ってまいります。

予約受付システムの導入

・2019年より導入済みのトラックバース予約システムを普及拡大させるべく、取引先への継続的な利用を促してまいります。

パレット等の活用

・パレット、カゴ台車、ロング台車、折りたたみコンテナ、通い箱等を活用し、荷役時間を削減します。



News Release

発荷主からの入出荷情報等の事前提供

・取引先からの物量情報をもとに、当日の出荷見込み台数、出荷可能時間の情報を提供することで、物流事業者の準備時間を確保し、ドライバーが作業時間を確保し余裕を持って作業・配送ができるようにしてまいります。

荷主側の施設面の改善

・ドミナント出店に先駆けて物流施設を県別に立地することで店舗への配送距離を短縮し、倉庫内のレイアウト変更等を行い荷待ち時間と荷役時間を短縮します

発注量の平準化

・曜日別の納品量平準化のため、サプライチェーン全体のサイクル・スケジュールの見直しをすすめ、曜日波動や月波動などの繁閑差を平準化します。

検品水準の適正化

・納品関連帳票類のWEB化（ペーパーレス化）を推進し、帳票類の収受に要する時間の短縮に取り組んでまいります。

運送契約の書面化の推進

・運送契約の書面化を推進します。

独自の取組

・在庫型物流施設では、商品入荷における自動化・省力化を推進し、納入ドライバーの荷待ち時間と荷役時間を短縮します。

上記「持続可能な物流の実現に向けた自主行動宣言」につきましては、[「ホワイト物流」推進運動のポータルサイト](#)でご覧いただけます。

【お問い合わせ】
ゲンキー戦略本部
IR 広報室 常見(つねみ)
genky-ir@genky.co.jp
0776-67-5240